

# ホッケーのまち越前

# ホッケー日本一を目指して

越前町で盛んなスポーツの一つにホッケーが挙げられます。昭和43年44年前に開かれた福井国体で旧朝日町がホッケー競技の開催地となり、福井県が見事優勝したことで、当時の朝日町で町技として推進するきっかけとなりました。

昭和43年 福井国体



一般女子決勝戦 福井 0-0 岐阜で同点優勝



一般女子の表彰



一般男子一回戦 福井 対 愛知



高校男子準決勝 福井 (丹生高) 3-1 鹿児島 (樋脇高) で決勝に進出



晴れの表彰 優勝 福井  
2位 岐阜 3位 鹿児島

平成9年 なみはや国体 (大阪)



優勝した丹生高校男子ホッケー部の皆さん

## ホッケー競技ルール ポイント(入門編)

### 試合時間

前・後半35分ずつの70分間で行われます。

### チームの人数

出場登録選手は1チーム18人(国際ルールは16人)。フィールドに立っているのはサッカードと同じ11人で1人のゴールキーパーと10人のフィールドプレイヤーで構成されます。

選手交代は自由で、さらに何回でも交代できるので選手交代のタイミングによって大きく試合の勝敗を左右することもあります。

### オフサイドがない!

過去にはサッカードと同様オフサイドが存在していましたが、ルール改正によって廃止され得点の入る確率が高くなりました。

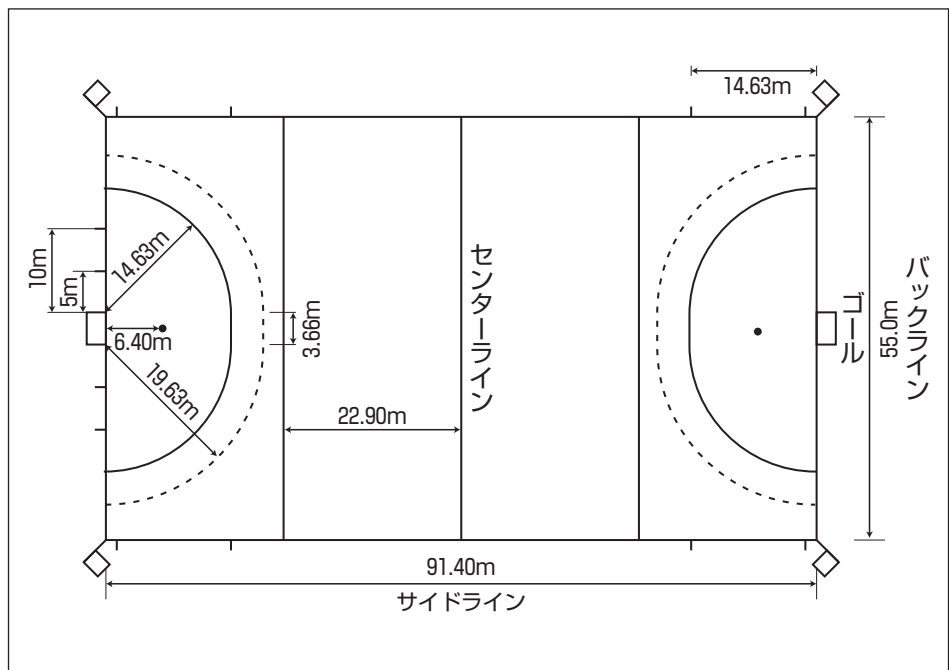
### サークル

ホッケーではサークルと呼ばれるほぼ半円の中からシュートを打たないと、得点とみなされません。サッカードのようにロングシュートがなく、基本的にシュートの時を除いてボールを上

げてはいけないので空中にセンターリングを上げることもできません。そのためホッケーでは、ゴール前の駆け引き、攻撃側はドリブル、パスを使っていかに相手守陣をかくぐって得点するか、守備側はそれをどう防ぐかが最大の見どころです。

### 警告、退場

ホッケーではグリーンカード、イエローカードの3種類のカードがあります。グリーンカードは警告を、イエローカードは一時退場を、レッドカードは即時退場を表しています。グリーンカードを出されても退場になることはありませんが、イエローカードを出されると5分以上の退場となります。どれくらいの退場時間になるかは審判の裁量に任されています。レッドカードは即時退場でその試合にはもう出られません。



### 【フィールド】

競技フィールドは、横55m×縦91.4m。ゴールは高さ2.14m×幅3.66mの大きさで、そこにボールを入れて得点を競います。1972年から、オリンピック、ワールドカップ、アジア大会など国際大会は全て人工芝のフィールドで行われるようになり、国内の主要な大会も全て人工芝フィールドとなりました。また、フィールドには常に水がまかれていて、転倒した際の摩擦によるやけどを防いでいます。

## ホッケーの用具

### (主なもの)

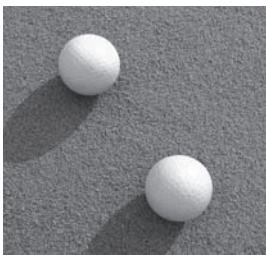
### スティック

先端部が湾曲した形状で棒状のもので重さは最大737gまでとなっていますが、長さの制限はありません。市販されているものは約90cmのものでほとんどです。スティックには平らな面と丸い面があり、平らな面でしかボールを扱うことはできません。



### ボール

ボールの規定は「その材質を問わず、硬い球であること」。野球の硬球を想像すると解りやすいでしょう。ほぼ同じ大きさ、重さで、硬球よりも硬いものがホッケーで使われています。表面を硬化プラスチックで覆って、ゴルフボールのようにディンプル(くぼみ)をつけたものが主流で、ポールスピードは、160km以上にもなるので、あたるとかなり痛いのです。





# 2012 北信越かがやき総体開幕!!

7月31日に越前陶芸村文化交流会館で、高等学校総合体育大会「2012北信越かがやき総体」ホッケー競技の開会式が行われました。8月1日(水)から5日(日)の5日間、町営総合運動場人工芝ホッケー場と県立ホッケー会場を会場に、高校日本一を目指し夏より熱い戦いが繰り広げられます。大会には、福井県代表として丹生高校男女ホッケー部が出場しています。



7月中旬には、大会準備のため丹生高校の生徒が、140のプランターに赤・白・ピンク、3つずつペゴニアの花を植えました。また、中学校の男女ホッケー部も、のぼり旗の作成を手伝ってもらいました。全国各地から集まる選手や応援に来られる人々を歓迎し、高校総体を皆で協力して盛り上げていきます。

丹生高校男女ホッケー部主将  
および副主将にチームの状況や  
かがやき総体へ向けての意気  
込みをインタビューしました。



男子主将：宮崎俊哉さん

## 【男子主将】

●全員が明るく個性豊かで、技術の前に、全員が声を出して盛り上げるチームを目指しています。毎日ラントレーニングをやっているため、70分間を走りきって相手を動かすホッケーができるようになってきています。

## 【男子副主将】

●3年間の練習の成果をすべて発揮して、全力で戦います。

(松山洋輔さん)

●地元の皆さんの期待を背負って、優勝を目指して頑張ります。

(高田知樹さん)

## 【女子主将】

●明るく元気に笑顔で粘り強くをモットーに、大きな声を出し頑張っているチームです。一人ひとりが地元の期待を背負っていることを自覚し、緊張感を持って練習に励んでいます。



女子主将：中村莉緒さん

## 【女子副主将】

●今まで頑張ってきたことを出し切り、地元の皆さんのためにも全国制覇します。

(高橋明日香さん)

●練習してきたことを活かして、丹生のペースで全力で戦っていきます。

(土井友貴さん)



## 福井国体を見据えた ホッケーの推進



越前町は、国内最大のスポーツの祭典である国民体育大会の、第73回福井県大会ホッケー競技の開催会場として選定されています。

国体は「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯(男女総合成績1位)・皇后杯(女子総合成績1位)の獲得などをめざし、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

福井県では、過去、高度経済成長の真っ直中にあった昭和43年に、第23回大会として開催され、福井県選手団は、『明るく、きよく、たくましく』のスローガンのもと、天皇杯を獲得(総合優勝)しています。

6年後の福井国体においても、ホッケー日本一を目指す福井県選手団の活躍が期待されます。そして、今後、開催に向け町民の皆さんとともに準備を進めていきます。

## 越前町で「高円宮杯2012 男子ホッケー日本リーグ」が開催

7月7日・8日の2日間、越前町人工芝ホッケー場で、日本リーグ(福井シリーズ)が開催され、県内外から約1,400人の観客が応援に訪れました。日本リーグは、サッカーのなでしこリーグや、バレーボールのVリーグと同じ、国内におけるホッケーの最高峰のリーグで、今まで数多くの日本代表選手を輩出してきました。この最高峰リーグに地元越前町からは、福井クラブが、福井国体を見据えてチームの

強化を図るために今年から日本リーグに参戦しています。

福井シリーズには、日本代表を多数有し、越前町出身の選手も在籍する名古屋フラーテルホッケーチームや、天理大学ベアーズなど、強豪が出場し、全6試合が行われました。

福井クラブは、2勝2分2敗で7位(全12チーム)となりました。次戦は岐阜県で、9月8日(土)に名古屋フラーテルホッケーチーム、9日(日)には東京農業大学と対戦し、連勝してプレイング進出を狙います。

## 結果

### 7日(土)

福井クラブ(福井)	2-1	診療印刷(埼玉)
天理大学ベアーズ(奈良)	2-3	ALDER 飯能(埼玉)
名古屋フラーテル ホッケーチーム(愛知)	2-1	岐阜朝日クラブ(岐阜)

### 8日(日)

名古屋フラーテル ホッケーチーム(愛知)	7-1	天理大学ベアーズ(奈良)
岐阜朝日クラブ(岐阜)	6-2	診療印刷(埼玉)
福井クラブ(福井)	3-1	ALDER 飯能(埼玉)



福井クラブ 対 ALDER 飯能



福井クラブの皆さん

広報えちぜん6月号でも紹介しましたが、今年から織田中学校にホッケー部ができ、活動が始まったことで、町内でも競争が行われ、ホッケーのレベルの底上げが期待できます。また、地元越前町の福井クラブが日本リーグに参戦したことで、福井国体のホッケー競技開催地として、ますます盛り上がっていくことと思います。

ホッケーを見たことのない皆さんも、ぜひ一度ホッケーを間近で見てくださ。プレイヤーのスピードや動きや、エキサイティングな技術に圧倒されるはず。皆さんも会場で越前町がホッケー日本一になるよう応援しましょう。